

故郷回想文



黒木御所(西ノ島町)

地球を鷲掴み、島前カルデラ

女優

田中美佐子

TANAKA MISAKO

私

の生まれ故郷、島根県隠岐島。暮らしの風景と共に家族の笑顔がいつぱいある。あの頃の写真が色褪せてしまっても、私の記憶に残るその追想の映像はとても鮮やかでまるで昨日のことのように思い出される。私にとって



赤ハゲ山(知夫村)

は本当に特別な島である。隠岐は4つの大きな島と小さな180の島々からなる諸島。一番大きな島を島後、3つの島を島前と呼び、私はそのどちらも住み、どちらの良さもよく知っている。隠岐の島の良いところは？と聞かれたら、やはり島民のやさしさ、穏やかな人々、そしてどこを切り取っても絵になるような美しい風景、魚介類のおいしさ、他の島にはない伝統行事などあげればきりが無いほど。私が生まれた島は島前の西ノ島というところで、この島が一番思い出深い場所でもある。島前はカルデラになっており、日本地質百選にも選ばれ、学術的価値のある島だ。それを目的に研究や旅をする海外の人たちもたくさん増えてきた。島前の3つの島を上から見下ろすと



はつきりとカルデラの形がわかる。もちろん真上から見ることができないが、私の大好きな場所でもある知夫里島の赤ハゲ山からその姿を見ることが出来る。この赤ハゲ山のてっぺんに立つと、360度海を見渡すことができ、圧巻としか言いようがないほどの風景が広がっている。私はこんな素晴らしい景色を他では見たことがないと言いたい。両手を広げて水平線を見渡すと、まるで地球を鷲掴みにしたようだ。広大な海の中に浮き上がるカルデラと外輪山。神々しさと儚さと逞しさが混じるこの島で生まれ育ったことに感謝し、いつか故郷に帰るのではなく旅する人となり、たくさんさんの思い出に会いに行きたい。これを読んでくださる方ももし隠岐に旅をしてくださるのであれば、ぜひ地球を鷲掴みにできるあの荘厳な感覚を味わっていただけたらと心から思う。



島前カルデラ

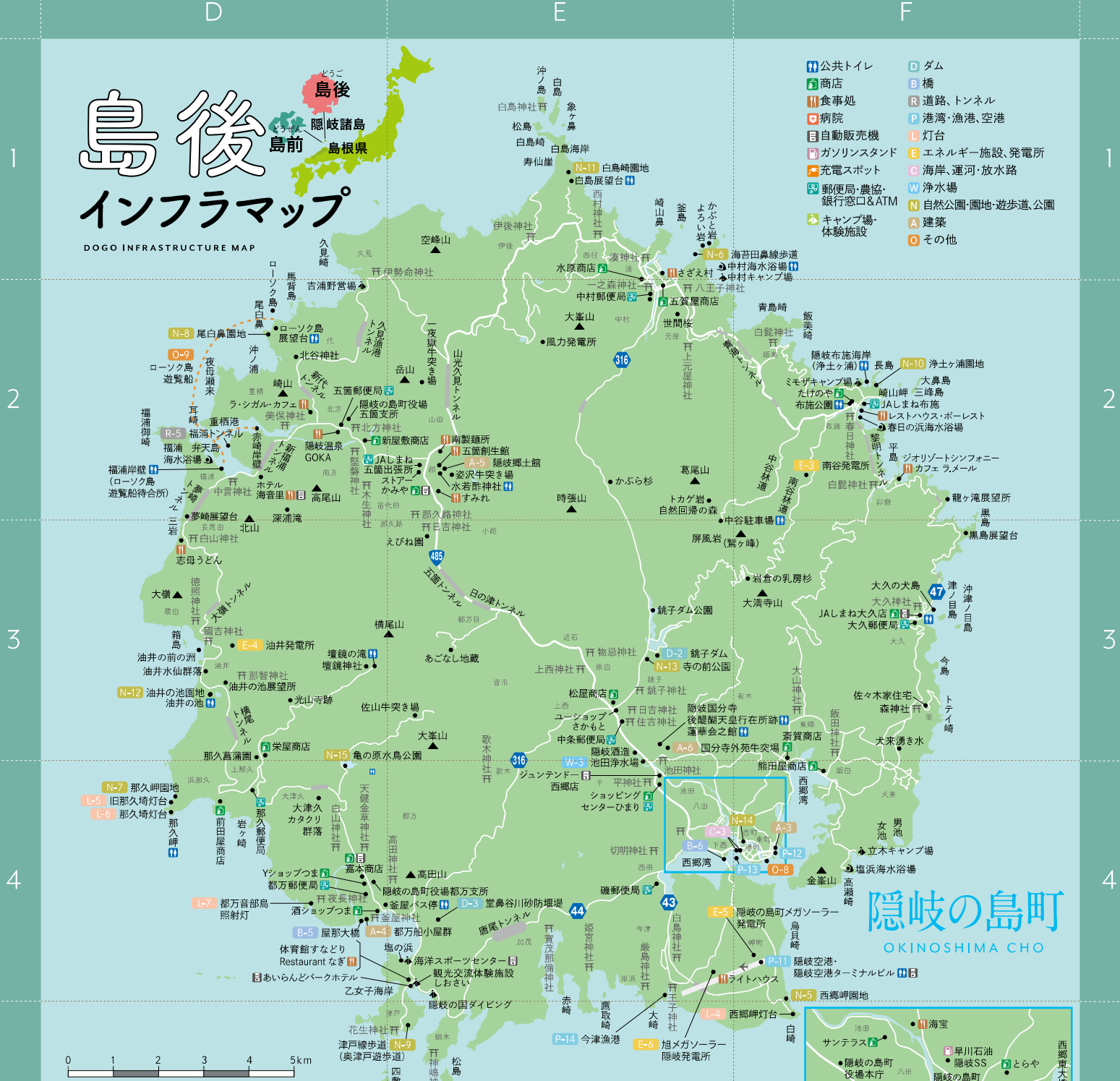
たなか みさこ
田中美佐子 TANAKA MISAKO (女優)

1959年11月11日生まれ。島根県西ノ島町出身。興職員(土木技師)である父親の転勤に伴い、隠岐の島町・松江市と転居。1981年、TBSの緑山私塾からドラマ「想い出づくり」でデビュー。1982年、映画「ダイヤモンドは傷つかない」で初主演し、第6回日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞。以降、さまざまなドラマや映画に多数出演。

Misako Tanaka

島後 インフラマップ

DOGO INFRASTRUCTURE MAP



島根県に属する隠岐諸島は、島根半島の北方40~80kmの日本海に位置する4つの有人島と180余りの無人島によって形成されている群島です。島後水道を境に島前(どうぜん)と島後(どうご)の2つのエリアに分けられ、島前は西ノ島、中ノ島、知夫里(ちぶり)島の3島で、島後は隠岐諸島の主島である島後1島で構成されています。島後は、中央に500m級の山々が連なり、面積も隠岐諸島最大で島前3島の2倍以上あります。

※インフラマップへの掲載店舗等は、(一社)隠岐ゾパーク推進機構発行のパンフレット(令和4年5月現在の情報)を参考に作成しています。予めご了承ください。

16th 隠岐の島 ウルトラマラソン ~また会いましょう~

隠岐の島ウルトラマラソン(6月中旬)

隠岐島後の外周道路を利用したマラソン大会で、100kmと50kmのコースがあります。起伏の激しい全国屈指の難コースですが、島後の大自然と島民の声援が、全国から集まるランナーの皆様を後押しします。

第16回
隠岐の島ウルトラマラソン
2023年6月18日(日)
100km/AM 5:00~
50km/AM 11:30~



隠岐の島町

日本海の秘境
大自然と悠久の時をよむ
歴史・文化に出会う島

隠岐の島町

隠岐の島町DATA

- 人口: 13,603人 (R4.10月末)
- 面積: 242.8km²
- 町のスローガン: 「生まれてよかった」、「住んでよかった」、「訪れてよかった」、「帰ってきてよかった」隠岐の島
- 特産品: 地酒、各種海産物、隠岐そば、黒曜石
- PRスポット: 奇岩を含む変化にとんだ海岸線、島独自の歴史文化
- 主なお祭り・イベント: 牛突き、御霊会風流(馬入れ神事)、蓮華絵舞、隠岐古典相撲、隠岐の島町ウルトラマラソン



ローソク島

島後の北西の沖合いに海から約20メートルの高さでそびえ立つ奇岩で先端に夕日が重なり、まるで一本の巨大ローソクに火を灯したように輝く瞬間を遊覧船から眺めることができます。



MAP:D2



壇鏡の滝

島の西部、那久地区にある壇鏡の滝は高さ40メートルの左右から雄滝・雌滝が流れ落ちています。「日本の滝百選」「全国名水百選」にも選ばれており島後のパワースポットです。

MAP:D3



隠岐自然館

隠岐諸島の成り立ちを通じて、日本列島の誕生、地球内部の情報まで知ることができます。さらに、その大地の上で育まれてきた離島ならではの生物や、地域の人々を守り伝えてきた伝統文化とのつながりを展示・解説しています。

MAP:F4



油井の前の洲

島の西部にある油井地区の海岸で見られる前の洲は、島後で最も広い波食棚を形成しています。約2千万年前の湖の地層が日本海の波と風による浸食作用でできたものです。

MAP:D3



北前船の交易により多くの影響を受けた隠岐民謡の一つに「しげさ節」があります。この唄のなかに「隠岐は絵の島 花の島」「里にや人情の花が咲く」とあるように、日本海の荒波により作り出されたローソク島などの奇岩や岩肌が美しい白島海岸などの雄大な海岸風景、山側に目を移すと存在感のある不思議な杉などを織り込んだ緑豊かな自然がたくさんあります。

歴史・文化においても「隠岐古典相撲」や「隠岐国分寺蓮華絵舞」は1200年の歴史があるといわれており、その他にも御霊会風流の馬入れ神事などの勇壮かつ優美な祭りがたくさんあり、島民がその伝統を守り続けています。

島の珍しい地形やそこにある生態系、そして人が紡いできた歴史文化は「隠岐ユネスコ世界ジオパーク」の一部として世界から認められています。

牛突き

約800年前、隠岐へご配流となった後鳥羽上皇をお慰めするために島の人々が始めたのが起源とされる隠岐の牛突き。年に3回の本場所をはじめ、島の観光イベント・観光用牛突きで観ることができます。



隠岐古典相撲

神社遷宮や大きなプロジェクトの完工など、住民共通の慶祝事業に伴って様々な場所で行われます。丸一日かける徹夜相撲で、一晩に使う塩の量は1トンに及びます。同じ力士が2度連続して取り組み、先に勝った方が2度目の取り組みでは相手に勝ちを譲ることから「人情相撲」とも呼ばれています。

隠岐の島町より

隠岐の島が日本列島から離れ、現在の島の姿となって約1万年。先人から残されてきた自然、人々の営みの中で育まれてきた伝統と文化、島の温かい人と人とのつながり。この島はそんな環境とともに暮らしてきました。恵まれた自然はもとより安心・安全な生活に欠かせないインフラ整備を実施することにより、「国境の島」として魅力ある島づくりを目指しています。

OKI伝説物語

北前船

島後の西郷港は、丈夫な帆の開発によって北前船の下関～隠岐～佐渡～松前の沖乗り航路が行われるようになった18世紀後半から明治30年頃まで栄えました。多い時で西郷港だけで年間2千隻の船が停泊し、隠岐全体では4千隻にもなりました。

隠岐騒動

明治元年、隠岐の住民が松江藩隠岐郡代を追放し、王政復古で隠岐は朝廷御料になったと宣言する隠岐騒動が発生して住民自治が行われました。松江藩の出兵によって80日間の短命に終わりましたが、その組織体制は明治新政府の組織体制を上回るものでありました。



【島後】
DOGO
隠岐の島町

玄海と空の関



隠岐世界ジオパーク空港

隠岐と日本各地を結ぶ空の便

隠岐空港は昭和40年の開港以来、隠岐島民の生活路線として、また隠岐島と大都市路線を結ぶ唯一の高速交通手段として重要な役割を果たしています。平成27年には開港50周年を記念して愛称を募集し、「隠岐世界ジオパーク空港」に決定しました。

管：隠岐支庁県土整備局
所：隠岐の島町町
P：163台
型：滑走路延長2,000m



MAP:F4 ID:P-11



隠岐空港の歴史

隠岐空港は昭和40年8月に1,200m滑走路を有する空港として開港し、昭和54年4月には滑走路を1,500mに拡張しました。その後、航空機の大型化や増大する航空需要に対応するため、平成18年7月に小型ジェット機が就航可能な2,000m滑走路を有する現在の新隠岐空港が旧空港の南側に新しく設置されました。また利用者の増加に伴い利便性向上のため、令和3年10月にターミナルビルの増改築と乗降施設PBB（パッセンジャーボーディングブリッジ）の設置が完成しました。PBBは離島空港では唯一隠岐空港に設置されています。

岬の溶岩台地と隠岐空港

隠岐空港のある島後の岬地区は、約55万年前の噴火によりできた溶岩の台地です。この時の噴火で流れ出した溶岩はサラサラしていたため見晴らしの良い平らな大地を作りました。西郷岬灯台の下は急な崖となっていますが、これは当時の火口で半分が爆発により吹き飛ばされており、お椀を半分にしたような形をしています。



滑走路 1,200m



滑走路 1,500m



滑走路 2,000m



岬の爆裂火口



西郷港・西郷港ターミナル

隠岐の生活や産業の基盤を支える港

西郷港は、江戸時代の半ばから明治30年代頃にかけて、日本海側の貿易船である北前船の寄港地や風待ち港として栄えました。また西郷港は、南向きの間口が狭く東西に奥が広いうえに水深もあり、天然の良港となっており、古くから沿岸漁業の拠点基地や日本海を航行する帆船の寄港地として利用され発展してきました。しかし、この間口は300mと狭く船を入れるのが難しかったことから、西郷小学校、東町の清休寺と出雲大社分院の石灯笼が作る正三角形の角度を見ながら入ってきたと言われています。

その後、西郷港では本土と結ぶ離島航路が昭和18年に開設され、現在もその基地港として隠岐諸島の海の玄関口となっており、隠岐圏域の物流の拠点として経済・文化の中心を担う重要な役割を果たしています。港湾施設としては、平成11年から沖側へ35m前出した新たなフェリー埠頭の整備を進め、平成22年に現在のフェリー岸壁とターミナルビルが完成、平成25年に高速船岸壁が完成し、隠岐島の生活・産業を支える重要な港湾として機能しています。また令和3年に隠岐ジオゲートウェイ（隠岐ユネスコ世界ジオパーク中核・拠点施設）がオープンし、新たな交流拠点として期待されています。

管：隠岐支庁県土整備局
所：隠岐の島町中町外
P：あり

MAP:F4 ID:P-12



昭和10年代の西郷港



現在の西郷港



／隠岐汽船は、今日も隠岐と本土を結んでいます／



フェリーおき

就航年月日: 平成16年4月1日
船の全長: 99.50m
航海速度: 18.90kt
定員数: 822名



フェリーくにが

就航年月日: 平成11年4月1日
船の全長: 99.50m
航海速度: 18.90kt
定員数: 823名



フェリーしらしま

就航年月日: 平成7年3月1日
船の全長: 99.35m
航海速度: 18.90kt
定員数: 856名



レインボージェット

就航年月日: 平成26年3月1日
総トン数: 173.00トン
船の全長: 30.33m
航海速度: 40.00kt
定員数: 256名



おきしぜんかん
隠岐自然館

令和3年4月に隠岐ジオゲートウェイ内にリニューアルオープン。館内では隠岐4島の「大地の成り立ち」「独自の生態系」「人の営み」のテーマ毎に隠岐の概要を知ることができます。施設の1階には誰でも自由に使える図書と並べたフリースペースもあり、船の待ち時間などにゆっくりとした時間を過ごすことができます。

所: 隠岐の島町中町目貫の四61 隠岐ジオゲートウェイ2F
問: 08512-2-1583 時: 9:00~17:00 休: 第2・第4火曜
入館料: 高校生以上500円、小中学生250円 wi-fi: あり

MAP: F4 ID: A-3



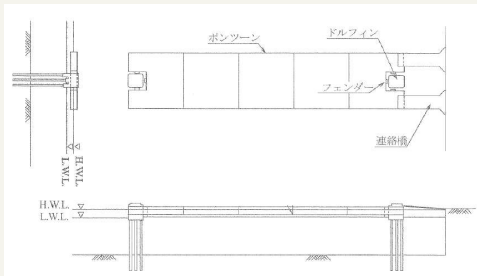
さいごうこう ふとう
西郷港の埠頭



上から見た同じに見える埠頭も
海底地盤や水深によって、色々な構造をしています

3 浮棧橋式 …水深が深い場合など

- ・海底地盤に影響されないが、波や流れの大きい場所では設置できない。
- ・ポンツーンと呼ばれる浮体を係留杭や係留索(チェーン、ワイヤー等)で固定した構造。(西郷港は係留杭)



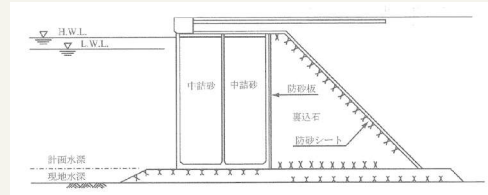
西郷港の埠頭 様々な構造形式
を構成する



インフラ
上級者向け
解説!

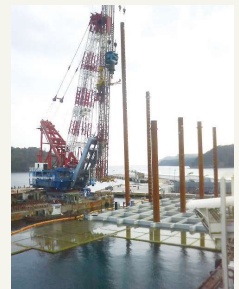
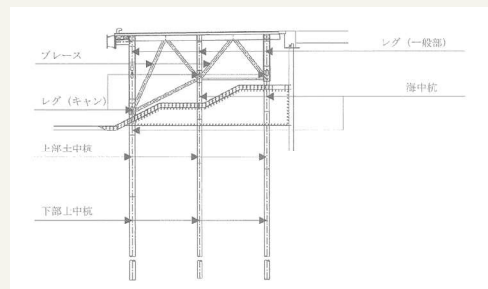
1 重力式 …地盤が強固、または軟弱層が薄い場合

- ・本体の自重で安定性を保つ構造。
- ・本体を構成する構造は、ケーソン、L型ブロック、セルラーブロック、方塊ブロックがある。(西郷港はケーソン)

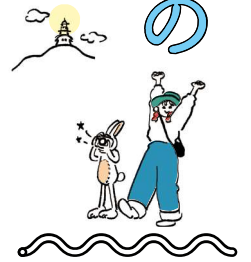


2 棧橋式 …海底地盤の軟弱層が厚い場合

- ・長い杭を海中に打設し、杭で上からの荷重を支える構造。
- ・上部工は、鋼製ジャケットやコンクリート製床版がある。(西郷港はどちらもあ)



灯台と岬の 遊歩道



隠岐諸島最大の島、島後(どうご)は、岬や入り江が多く、昔から漁業が盛んに行われてきました。以前は、昼間の沿岸漁業であったものが、船舶の大型化により遠洋漁業にシフトした関係から、夜行の船舶の道標として、要所に灯台が設置されるようになりました。また、島後には「隠岐ユネスコ世界ジオパーク」を代表する多くの景勝地が海岸部に見られ、岬の園地として遊歩道や東屋などが整備され、ジオサイトへのアクセスや利用がしやすくなっています。



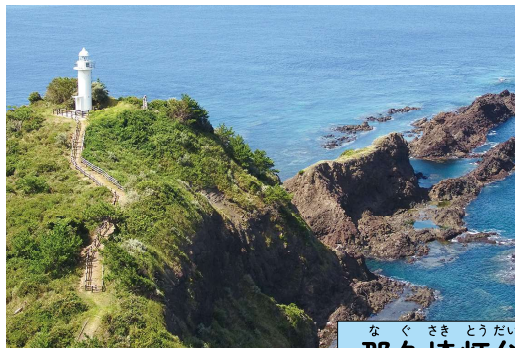
西郷岬灯台

中世ヨーロッパのお城を思わせる西郷岬灯台は、その名の通り西郷港入り口の岬に建っています。大正時代に建設された沿岸灯台の中で、建設当初の姿がそのまま残されている貴重な灯台です。レンズは国産初の第4等フレネルレンズが使用されており、建設当時は、石油の燃焼で発生する白光を光源にした「乙式石油蒸発白熱灯」が使われていました。大正10年3月31日に初点灯。



所: 隠岐の島町岬町
P: あり
灯: 群閃白光 毎30秒に2閃光
型: 高さ11.28m

MAP: F5 ID: L-4



那久崎灯台

昭和38年12月18日に初点灯。島後沿岸を航行する船舶の交通を見守っています。また、岬先端までは遊歩道が整備されており、灯台からは島前の島々を一望することができ、夕日のスポットにもなっています。

所: 隠岐の島町那久 P: あり(18台)
灯: 単閃白光 毎5秒に1閃光 型: 高さ12.03m

MAP: D4 ID: L-6



所: 隠岐の島町那久
P: あり(18台)

MAP: D4 ID: L-5

むかしは
どんな天気でも
夕方になると
灯を燈しに日参りしたと
伝えられています



那久岬の駐車場の一角にある旧那久崎灯台は、明治末期に設置されたもので、昭和初期まで島後水道を航行する船舶の安全の道標として重要な役割を果たしてきました。永年風雪に晒され崩壊寸前でしたが、旧都万村(現: 隠岐の島町)及び那久報徳社の協力を得て、那久岬会の皆さんが昭和56年に保存復元されたものです。那久岬沖は古くから海上の要所。神功皇后の三韓遠征(新羅侵攻)で朝鮮半島に渡る際にこの地で時化(しげ)にあい、風待ちし、風(なぐ)という地名を付けたという伝説があります。

西郷岬園地

島後の南側に位置し、園地内からは、西郷湾から大満寺山までを一望でき、眼下には青く美しい日本海が広がっています。また、側面の崖には噴火口の断面が見られます。

所: 隠岐の島町岬町
P: あり(30台)
型: 遊歩道50m

MAP: F4 ID: N-5

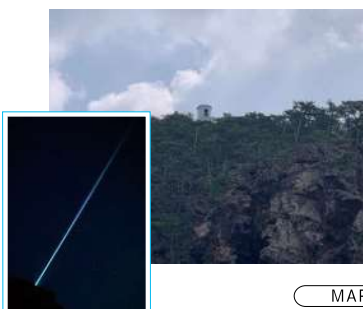


都万音部島照射灯

昭和48年1月31日に初点灯。島後の南西にある照射灯です。本灯の南西約3kmにある音部島を照射しています。夜間は、レーザービームのような光を放ち、天気が良ければ、星空に一筋の光が差し込んだように見えます。

所: 隠岐の島町都万
P: あり
灯: 不動白光
型: 高さ6.1m

MAP: D4 ID: L-7





島前諸島

なぐさえんち 那久岬園地

夕日の眺望は島後の中でも一番のスポット。岬に立つと目前に島前諸島が広がります。展望台には、明治の末期に設置された旧那久埼灯台が残されています。また、展望台より岬先端の灯台まで遊歩道が整備されており、眼下に広がる日本海を一望できます。



所: 隠岐の島町那久 P: あり(18台) 型: 遊歩道480m

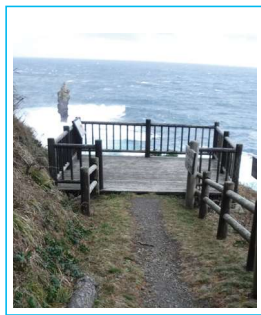
MAP: D4 ID: N-7

おじろばえんち 尾白鼻園地

隠岐の自然が創り出した巨大なオブジェ、ローソク島。尾白鼻の北東500mの沖合い、高さ20mでそびえ立つ姿には、夕暮れに真っ赤な夕陽が灯ります。このローソク島、馬背島や久見、代地区の海岸線を間近で見ることができるよう、展望デッキや遊歩道が整備されています。

所: 隠岐の島町代 P: あり(7台) 型: 遊歩道950m

MAP: D2 ID: N-8



じょうどがうらえんち 浄土ヶ浦園地

島後の北東部海岸は、様々な地層が露出し、その風化、侵食に対する抵抗力の違いから、多彩な色や形の岩石からなる多数の島々があり、多島海となっています。たくさんの小島が立ち並ぶ美しい景観や日本海ができる以前、湖のひろがる大陸の低地だった時代の地層なども見ることができます。

所: 隠岐の島町布施 P: あり 型: 遊歩道67m (ユニバーサルデザイン部67m)

MAP: F2 ID: N-10



一休和尚がここを訪れ極楽のように美しいと読んだ狂歌からだと伝えられています



ゆい いけえんち 油井の池園地

島後の西部に位置する油井の池は大規模な地すべりが作ったくぼみに水が溜まりできた池といわれています。油井の池は隠岐島最大の止水性昆虫類の生息地であり、特にトンボ類が多く「隠岐最大の生息地」として有名です。また、島根レッドデータブック掲載種のチョウ類も確認されているうえ、池の周辺には水仙群生地などもあり、冬にはあたり一面水仙の香りが漂います。

※令和5年1月現在、大雨災害により木道の遊歩道が破損したため通行止にしていますが、早期復旧に向けて事業中です。

所: 隠岐の島町油井 P: あり(7台) 型: 遊歩道410m

MAP: D3 ID: N-12



のりたばせんほど 海苔田鼻線歩道

海苔田鼻は、島後の北部にある岬です。岬の先端部には、鏝岩、カプト岩と呼ばれる奇勝があり、追い詰められて海に身を投じた武士のよろいやかぶとが石化したという伝説があります。中村海水浴場東側の入口から探勝歩道を歩けば2つの岩が展望できるポイントに着きます。途中、北の白島海岸や南の浄土ヶ浦などの景勝を見ることができます。

※令和5年1月現在、落石の危険性が高い箇所や歩道が崩落した箇所があるため通行止にしていますが、通行に向けて事業中です。

所: 隠岐の島町元屋 P: あり(5台) 型: 遊歩道1,200m

MAP: E1 ID: N-6



つとせんほど おくつどゆうほど 津戸線歩道(奥津戸遊歩道)

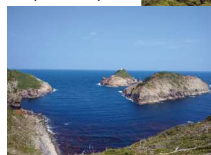
島後の南西部に位置し、島後を代表するアルカリ流紋岩の白い岩肌とその名を示すきれいな流れ模様を楽しむことができます。また近くには隠岐の海と緑が満喫できる多目的施設「あいランドパーク」があり、海水浴場、キャンプ場、海洋スポーツセンターのほかレストランや宿泊施設などが集まった総合施設で、海のレジャーをゆっくりと楽しむことができます。

所: 隠岐の島町津戸 P: あり(5台) 型: 遊歩道890m

MAP: E5 ID: N-9



\ ZOOM /



しらしまさきえんち 白島崎園地

島後の最北端に位置し、多くの島々が散在しており、これらの島々を総称して白島といわれています。島々は板状アルカリ石英粗面岩からなり、長い年月の風化や海食によって極めて特異な風景美をつくり出しています。この中の沖島は天然記念物のオオミズナギドリの繁殖地としても有名です。展望台からは青い海に浮かぶ、この島々を一望することができます。

所: 隠岐の島町西村 P: あり(30台) 型: 遊歩道2,120m

MAP: E1 ID: N-11



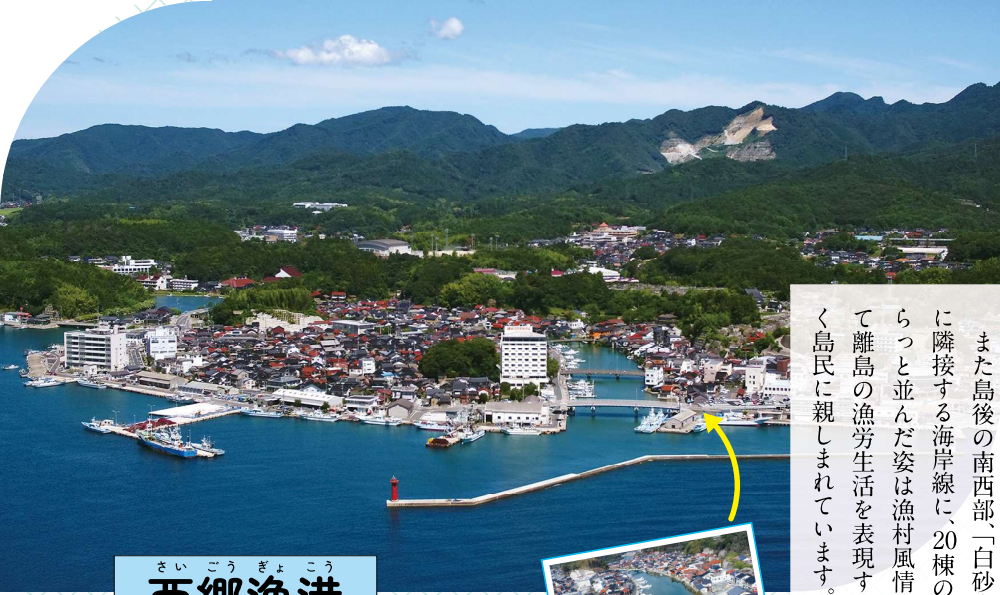
漁港と 漁村の風景



漁港の歴史、都万船小屋群と屋那の景観

島後の南部、「風待ち港」として八尾川河口を中心に古くから栄えてきた西郷漁港、新隠岐空港建設にともない大規模な改変が行われた今津漁港、それぞれに漁港と漁民の歩んできた歴史があります。

また島後の南西部、「白砂青松百選」に選ばれた「屋那の松原」に隣接する海岸線に、20棟の船小屋が一直線に並んでいます。ずらっと並んだ姿は漁村風情を漂わせ、民族資料的な価値に併せて離島の漁労生活を表現する産業景観としての評価も高く、広く島民に親しまれています。



西郷漁港

西郷漁港は隠岐の島町の南部に位置し、帆船時代の「風待ち港」として古くから栄えてきた漁港です。南に開口した天然の静穏な良港であることから、現在は水産物の集出荷の拠点として、また全国の漁船の避難港として重要な役割を果たしています。本港は周囲を急峻な地形に囲まれており、大型船舶の係留施設（栈橋式の岸壁）が沖に向かって整備され、杭式の構造物が数多く設置されています。



八尾川

西郷大橋
からの車窓は
最高！



所：隠岐の島町港町他 P：あり

MAP: F4 ID: P-13



↓昔の今津漁港(平成10年当時)



今津漁港

今津漁港では、平成十年代に新隠岐空港建設(滑走路延長)に伴い集落の移転を行いました。また、本港東側の地形が盛土により大きく改変されることになりました。地形変更による風の影響などを考慮し、波浪模型実験や風洞実験等により漁港形状を検討して決定するという、全国的に珍しい既存の港を掘り込む人工的な港に変貌しました。港内船揚場において正月15日に開催される「とんど」は年頭最大の行事です。

所：隠岐の島町今津 P：あり

MAP: E4 ID: P-14



↓現在の今津漁港



時化の際に
網を取ったと言われる
「船つなぎ石」も
新漁港に移設

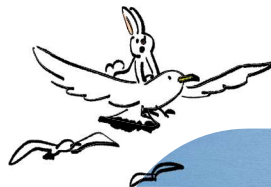


都万船小屋群

浜辺に作られた、船を収容しておく伝統的な倉庫が船小屋で、国内には日本海沿岸にしかありません。潮の満ち引きが小さいため、船小屋から海岸線までの距離がほとんど変わらないからです。都万船小屋群(木製船小屋20棟)は、昭和62年に道路工事で移転することになった際、昭和初期の様式(長屋方式)に再建されたもので、現在も使用されています。屋根は杉皮葺きで、竹の栈木とし、浜石を重しとして乗せています。

所：隠岐の島町都万 P：あり 型：木製船小屋群20棟

MAP: D4 ID: A-4



屋那大橋

隠岐の島町で唯一の吊橋であり、付近にある「白砂青松百選」の「屋那の松原」との景観が人気となっています。

所：隠岐の島町都万 P：10台程度
型：吊橋 長さ67m、幅員5m
竣：平成元年

MAP: D4 ID: B-5



屋那の松原





【島後】
DOGO
隠岐の島町

離島発電の変遷

隠岐諸島に電気による最初の灯りがついたのは、大正元年村営のガス発電から始まりました。

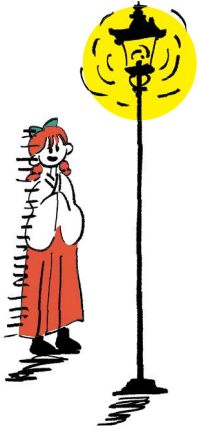
昭和一桁代、都万村に隠岐初の水力発電所、続いて中村、五箇村に10〜20kW程度の小規模水力発電が続々と行われましたが、昭和17年の配電統合により、中国配電に統合されました。

戦時中の軍の命令により着工した南谷発電所は戦後いち早く完成し、その後本格的な水力の油井発電所が完成し、ディーゼル発電を含め合理的な給電運用が可能となりました。当時は夜間のみを送電でしたが、雨が降ってダムがオーバーフローになると昼間でもサービス送電をするなど、天気次第でありました。

ディーゼル発電が強化されていく一方、各村を支えていた小規模水力は、昭和25年都万発電所、昭和33年中村発電所、昭和40年五箇発電所と廃止され、隠岐に残る水力発電所は南谷・油井の2箇所となりました。

西郷・黒木のディーゼル発電所に頼ってきた隠岐でも、平成に入り、風力や太陽光発電が導入されてきました。現在稼働している主な施設は、海士風力発電所、旭メガソーラー隠岐発電所、隠岐の島町メガソーラー発電所の3箇所です。

再生可能 エネルギー



みなみだに はつ でん しょ しょうすいりょく 南谷発電所(小水力)



中国電力株式会社が昭和21年9月より発電を開始した、発電専用の重力式ダムです。

所:隠岐の島町布施
管:株式会社鴻池組
問:本社経営企画部06-6245-6503
出:100kW(リプレイス前)
型:水路ダム式
取水堰堤高:9m
取水堰堤長:48m



MAP:F2 ID:E-3

ダムカードについて

問1:隠岐の島町役場布施支所(土・日閉所)
電1:08512-7-4311
問2:レストハウス・ポーレスト(水定休日)
電2:08512-7-4888



旧隠岐空港の滑走路跡地に建設した旭メガソーラー隠岐発電所および隠岐の島町メガソーラー発電所の両太陽光発電所は平成27年9月30日の発電事業開始以来、それぞれ隠岐諸島における約500軒の一般住宅にあたる電力を生み出し続けていることで、平成31年3月末の「隠岐ハイブリッドプロジェクト」が終了した後も、隠岐諸島における電力の安定供給や温室効果ガス削減に貢献し続けています。

ゆ い はつ でん しょ しょうすいりょく 油井発電所(小水力)

中国電力株式会社が昭和26年3月より発電を開始した、発電専用の重力式ダムです。

所:隠岐の島町油井 管:株式会社鴻池組
問:本社経営企画部06-6245-6503
出:200kW(リプレイス前)
型:ダム式 取水堰堤高:13.67m
取水堰堤長:40m



MAP:D3 ID:E-4



南谷発電所および油井発電所の両小水力発電所は、令和2年4月に中国電力ネットワーク株式会社が承継し、その後令和4年4月に株式会社鴻池組へ譲渡する契約が締結されました。古い水車や発電機のリプレイス工事を行い、令和6年春新たな発電所として運転を開始する予定です。

ダムカードについて

問1:隠岐の島町役場都万支所(土・日閉所)
電1:08512-6-2311
問2:レストラン風(水・木定休日)
電2:08512-3-1886



お き しまちょう はつ でん しょ 隠岐の島町メガソーラー発電所

所:隠岐の島町岬町
管:隠岐一畑交通株式会社
問:08512-2-1281
出:1,500kW

MAP:F4 ID:E-5



あさひ お き はつ でん しょ 旭メガソーラー隠岐発電所

所:隠岐の島町岬町 管:旭電業株式会社
問:086-243-7921
出:1,500kW

MAP:E4 ID:E-6



治水・利水・環境



八尾川改修の歴史と旧西郷町（現隠岐の島町）の水不足

八尾川は、その源を島後のほぼ中央部に位置する横尾山（標高577m）に発し、隠岐の島町の市街地を貫流して日本海（西郷湾）に注ぐ河川です。過去幾度か氾濫を繰り返して、度々洪水を起こしていたため、昭和20年代から治水対策が行われてきました。一方で、昭和48年、60年、61年、平成6年の渇水期には深刻な水不足に見舞われたため、現在は銚子ダムを水源とした池田浄水場により不安は解消されています。また、ダム周辺に大型遊具を備えた公園を、さらに下流部には河童伝説にちなんだ親水公園があり、町民の憩いの場となっています。



銚子ダム

平成11年10月には、
ダムの竣工を祝って
古典相撲が
開催されました



八尾川の治水対策の一つで、八尾川水系の銚子川に洪水調節及び農業用水・水道用水の確保を目的として平成12年に完成しました。ダム湖畔には全体が隠岐片麻岩からなる崖があり、観察のために一部磨かれています。この隠岐最古の岩石で、昔日本列島が大陸の一部であった証拠が伺えます。

管：隠岐支庁県土整備局 所：隠岐の島町原田（二級河川八尾川水系銚子川）
竣：平成12年 見：可（要事前申込） P：20台 目：洪水調節、水道用水、農業用水
型：重力式コンクリートダム、堤高39.7m、堤頂長185m、総貯水量2,530千m³



ダムカードについて

問：隠岐支庁県土整備局銚子ダム管理所
電：08512-2-4362 時：9:00～17:00（土日祝含む）

MAP: E3 ID: D-2

池田浄水場

隠岐の島町の渇水対策として、銚子ダムを水源に安定的な水道用水の確保を目的として八尾川沿いに整備されています。緩速ろ過、紫外線処理、膜ろ過と多種の水処理設備があり、良質な飲料水が給水されています。

管：隠岐の島町上下水道課
所：隠岐の島町原田
P：あり（10台） 見：可（要事前申込）
型：緩速ろ過池、4池、1,620m³/日
紫外線処理、4基、2,005m³/日



MAP: E4 ID: W-3



八尾川放水路と第二放水路（城山川）

八尾川放水路は昭和20年9月の大雨による洪水被害を契機として、昭和25年に完成しました。放水路壁面に西郷玄武岩の柱状節理が見られるとおり、節理の発達によって堀削が容易であったため、人力によって開削された歴史があり土木遺構として残る価値あるものです。一方、八尾川は、その後も幾度かの大雨により河口域への洪水被害を繰り返したため、第二放水路（城山川）が開削され、平成10年に完成しました。

管：隠岐支庁県土整備局 所：隠岐の島町港町
竣：昭和25年八尾川放水路、平成10年第二放水路（城山川）
型：八尾川放水路 長さ80m、第二放水路（城山川） 長さ120m



MAP: F4 ID: C-3

寺の前公園

銚子ダムに隣接し、四季折々の自然が楽しめる、水と緑の憩いの場として親しまれています。大型遊具を備えた公園で、休日には多くの家族連れで賑わっています。

複合遊具1基 大型滑り台1基
屋根付き休憩所1基
所：隠岐の島町原田 P：50台
型：複合遊具1基、大型滑り台1基



MAP: E3 ID: N-13



かっぱ公園

八尾川の河童伝説に由来した親水公園で、かっぱの銅像や遊具などがあります。河童伝説の残る場所はどれも『淵（流れが早く川底が急に深くなっている場所）』になっており、川を安全に利用するために河童の伝説が利用されてきたことがうかがえます。地域住民のレクリエーションや憩いの場として親しまれています。

所：隠岐の島町西町 P：あり（5台）
型：面積4,500m²



MAP: F4 ID: N-14

隠岐の河童伝説は伝承の内容がはっきりと伝えられているため、全国の河童伝説の中でも注目されています



八尾川周遊かっぱ遊覧船

島後の玄関口で、北前船の風待港であった西郷港、かっぱ伝説と八尾川沿いの漁師町を巡る遊覧船で、平成23年より運航が開始されました。遊覧船からは西郷岬灯台下の爆裂火口や、海面が高かった時代に形成された波食棚など大地の成り立ちを知ることができます。



所：隠岐の島町中町 問：（一社）隠岐の島町観光協会

MAP: F4 ID: O-8





西郷大橋

島後の海の玄関口、フェリー、高速船の発着する西郷湾に架かる美しいアーチ橋(ローゼ橋)。隠岐世界ジオパーク空港から町中心部を最短で結ぶランドマーク的な存在となっています。湾に浮かび山々の緑と赤のコントラストが美しく、建設当時(昭和52年)は東洋一のローゼ橋といわれていました。毎年開催されるウルトラマラソン大会100kmコースにもなっています。

管: 隠岐の島町農林水産課
所: 隠岐の島町岬町
型: ローゼ橋、長さ271m、幅員6m
竣: 昭和52年

MAP: E4 ID: B-6



堂鼻谷川砂防堰堤(双子の堰堤)



初代



初代



初代・二代目・三代目



平成19年豪雨災害により土石流が発生し、災害関連緊急砂防工事で復旧しました。溪流が二つ近接していたため、砂防堰堤を並列一体化させ、水通しは二つ、まるで双子の堰堤が並んでいるように見えます。双子の堰堤は珍しく、当時島根県初で第1号となります。

福浦トンネル

交通手段が船や徒歩であった時代、人が一人通れるだけの小さなトンネルをハンマーとノミを使って掘りました(初代)。その後、交通が牛や馬になると、馬車が通れるトンネルを火薬を用いて掘り(二代目)、さらに交通が自動車になると、バスを通すために重機を用いてトンネルを広げました(三代目)。福浦トンネルでは人の営みの移り変わり、土木技術の推移を関連付けて見ることが出来ることから平成17年度に国内の選奨土木遺産に選定されています。また、この場所が約600万年前の火砕流によってできた柔らかい崖だったことが人力でトンネルを掘ることができた理由の一つです。

管: 隠岐の島町建設課 所: 隠岐の島町南方
竣: 初代明治初期、二代目明治31年、三代目昭和50年
型: 長さ121m、幅3.5m、有効高3.8m
長さ10.8m、幅3.2m、有効高3.1m

MAP: D2 ID: R-5



角と角とを
突き合わせ巨体が
ぶつかり合う様は
迫力満点!



国分寺外苑牛突場

全天候木造ドーム型牛突き場で、名物の牛突きを気軽に楽しむことができます。隠岐の牛突きは、その昔、隠岐に配流となった後鳥羽上皇を慰めるために始まったという、日本最古約800年の歴史を持つ独自の伝統文化です。突き牛は2~6歳の雄の和牛で、横綱クラスになると体重が1,000kgを超えます。

管: 隠岐の島町商工観光課
問: (一社) 隠岐の島町観光協会
所: 隠岐の島町池田
竣: 平成10年 見:(要事前申込)
型: 収容人員1,000人

MAP: E3 ID: A-6



亀の原水鳥公園

昭和56年~59年にかけてため池が完成。広さ2万haの敷地に数千株のツツジのほか、遊具や展望台などが整備され、数十羽のアイガモが住んでいます。杉の木立に囲まれているため野鳥も多く生息しており、遊歩道ではバードウォッチングを楽しむことができます。水と緑に囲まれた公園で、5月にはツツジ祭りが開催され、大人も子供ものんびりと楽しめるスポットです。

所: 隠岐の島町都万 P: あり

MAP: D4 ID: N-15



西郷湾には島後の玄関口としてランドマーク的な存在である美しいアーチ型の西郷大橋が架かっています。北部には明治から昭和にかけて交通手段と土木技術の発達の過程がうかがえる(選奨土木遺産)福浦トンネルが残っています。また、隠岐郷土館は、明治10年代の建築様式を誇ることなく、島後で暮らした島民の漁労用具、調理飲食用具など国指定重要有形民俗文化財が多数展示してあります。さらには日本最古約800年の歴史を持つ牛突き場が全天候木造ドーム型として整備されています。



管: 隠岐支庁農土整備局 所: 隠岐の島町津戸
型: 重力式コンクリートダム
堂鼻谷川A 堤高5.0m、堤長35.5m
堂鼻谷川B 堤高7.0m、堤長60.5m

MAP: E4 ID: D-3

隠岐郷土館

明治18年郡役所庁舎として建造されたもので、その後明治21年隠岐島庁、大正15年隠岐支庁として変遷改名し、昭和43年廃棄されることとなったのを旧五箇村が移築復元したものです。島民の生活遺産を収集保存し、国指定重要有形民俗文化財、島根県指定有形民俗文化財を展示しています。

所: 隠岐の島町郡 P: 8台程度 問: 隠岐郷土館 08512-5-2151
時: 受付時間9:00~17:00 休: 12月~3月は要問い合わせ

MAP: E2 ID: A-5



ローソク島遊覧船

ローソク島は、隠岐の島町の代地区にある海面上に、約20m突き出た小さな無人島です。約500万年前に噴出して出来た火山岩で形成されています。ローソク島へは予約制の遊覧船が出航しています。3月15日~11月末の期間限定となっていて、日没に合わせて港を出航し、ローソク島と夕日が重なる瞬間は1本の巨大なローソクに火を灯したように輝きます。

問: (一社) 隠岐の島町観光協会

MAP: D2 ID: O-9



映画回想文



水若酢神社(隠岐の島町)

20年に一度の遷宮相撲が再現された(映画「渾身」より)©映画「渾身」製作委員会

世界レベルの隠岐の島

映画監督

錦織良成

NISHIKORI YOSHINARI



本番さながら

日 本文化の源流が現代も息づく日本海に浮かぶ宝島、隠岐の島に訪れると先ず島人の中に流れるオーブンマインドにノックアウトされる。私が脚本、監督した映画「渾身」は20年に一度の水若酢神社の遷宮を祝って行われる「古典相撲」が題材。元々は神

への奉納相撲「宮相撲」と呼ばれていて、割り相撲、五人抜きなど300番近く夜を徹して行われる。昔は横綱という番付は無く隠岐相撲は古い形のまま今でも最高位は大関。取り組みは二番行われ一番目の勝者が二番目には相手に勝ちを譲ることで参加力士全員が勝者となる。人情相撲と言われる所以である。大関、関脇には荣誉として土俵の四方に建てられた柱が贈られる。「ホイサホイサ」のかけ声のもと勝ち力士を柱に乗せ担いで地元地区に帰っていくシーンを観た福岡の博多祇園山笠の方から担ぐかけ声が同じで繋がりを感ずると聞き、改めて奥深さを再確認。遷宮相撲を再現した映画の参加エキストラは延べ4000人！鏡餅のような三重の土俵や柱も全て本物。力士が土俵に塩をまくシーンを何度もテイクを重ねた為、島中の塩が無くなるという珍事も。カメラ位置を変えながら1カット1カット丁寧に撮影、夜の取り組みの



にしこり よしなり
錦織 良成 NISHIKORI YOSHINARI (映画監督・脚本家)

- 1962年 島根県出雲市生まれ。
- '96年 劇場映画「BUGS」(主演:高橋かおり 他)で映画監督デビュー。
- '99年 「守ってあげたい」(主演:菅野美穂 他) 脚本・監督。一躍注目を集める。
- 2002年 「白い船」(主演:中村麻美、濱田岳 他) 脚本・監督。初めて故郷を舞台にした劇場映画。
- '03年 「ハート・オブ・シー」(主演:須藤理彩、杉山清貴 他) 監督。
- '05年 「ミラクルバナナ」(主演:小山田サユリ、緒形拳 他) 脚本・監督。
- '08年 「うん、何?」(柳沢なな、宮崎美子 他) 脚本・監督。
- '10年 「RAILWAYS-49歳で電車の運転士になった男の物語-」(主演:中井貴一 他) 脚本・監督。
- '11年 「わさお」(主演:薬師丸ひろ子、わさお【秋田犬】 他) 監督。
- '13年 「渾身」(主演:伊藤歩、青柳翔 他) 脚本・監督。
- '16年 EXILE HIRO氏がエグゼクティブプロデューサーをつとめた最新映画時代劇「たたら侍」脚本・監督。
- '19年 5月 「僕に、会いたかった」(主演:EXILE TAKAHIRO、松坂慶子 他) 全国公開。
11月 「高津川」(主演:甲本雅裕、戸田菜穂、田口浩正、奈良岡朋子 他) 中国地方先行公開。
- '22年 2月 「高津川」 全国公開。
原作物の映画化が多い中、自ら取材し企画、脚本化に拘る数少ない映画監督の一人。



シーンだけで10日間を要した。力士を支える家族や地域の繋がりを目の当たりにして益々隠岐の虜になった。撮影は毎晩0時過ぎまで続いた。映画実現の背景には多くの島人の熱い想いがあった。劇団EXILEの青柳翔さんや中村嘉津雄さん、甲本雅裕さん、長谷川初範さんら俳優陣も塩まみれで熱演。島の皆と一つになった撮影は正にお祭りそのものだった。世界の映画祭でも大好評！日本の誇りが詰まった唯一無二の隠岐は正に世界レベルなのだ。